

■高校生水循環学習プログラム ～小諸の水を学び、伝える～

キ ャ ッ チ フ レ ー ス

「水を使う」から  
「水を育てる」暮らしへ。

み	な	さ	ん	は	水	を	よ	く	飲	み	ま	す	か	？	ま	た	、	水	
の	大	切	さ	を	知	っ	て	い	ま	す	か	？	水	は	動	植	物	を	助
け	た	り	、	物	を	き	れ	い	に	し	た	り	す	る	役	割	が	あ	り
ま	す	。	し	か	し	最	近	は	地	球	温	暖	化	や	異	常	気	象	に
よ	り	水	が	減	少	し	て	い	ま	す	。	水	の	減	少	を	食	い	と
め	る	た	め	に	は	、	水	の	節	約	を	し	た	り	、	緑	を	守	っ
た	り	し	て	水	を	育	て	る	こ	と	が	大	切	で	す	。	水	を	使
う	か	ら	に	は	、	水	を	増	や	す	こ	と	が	重	要	で	す	。	

2年1組 Kさん

講師コメント（ソトコト編集長 指出一正氏）

完璧で破綻していない文章です。そして、しっかりと結論がつけられています。さらに、親しみのいぎない、インティマシーという言葉がありますが、人がその文章に危険信号を感じない書き方をしています。自分は、悪い人ではないよというのを人格と同じように文章も文格みたいなものがあるのですよね。いぎないの言葉を連ねていって、文章の中で水というものがどうして大事なのかということを誰にでも分かるように、分かりやすく書かれている。起承転結もしっかりと考えられています。

今の時事問題、温暖化であつたりと、ただ単に美しく幸せにみんなでハッピーみたいな終わり方でないところも気に入るところであります。多少、スパイス、キックが入らないと文章はかっこよくなるのです。

①社会の問題提起をやわらかく入れながら、命令口調でない形で結論をもってきている。この水を増やすという言葉は、水をきれいにするよりも分かりにくいですね。水を増やすということが感覚的に私たちはすごく求められている。透明感あふれて、何もかもが分かりやすく見やすくなっていることばかりが美しい文章ではないので、増やすという言葉は光を放っているなど思いました。

キャッチフレーズ

一滴、一カケラのつみかさね

川	は	一	滴	が	無	数	重	り	大	き	く	な	る	。	小	さ	な	魚	も
た	く	さ	ん	集	ま	れ	ば	一	つ	の	大	き	な	魚	に	な	る	。	人
も	少	し	ず	つ	の	つ	み	重	ね	が	後	に	大	き	く	な	り	自	分
の	力	と	な	る	。	水	は	循	環	し	、	何	度	も	入	れ	替	わ	る
人	も	一	か	ら	始	め	れ	ば	変	わ	り	、	や	り	直	す	こ	と	が
で	き	て	く	。	す	べ	て	は	つ	な	が	り	、	共	通	が	あ	る	。
こ	の	世	は	始	ま	り	が	全	て	を	つ	か	む	の	で	す	。		

2年1組 Tさん

講師コメント (ソトコト編集長 指出一正氏)

文章のなかで、時系列と環境の転換みたいなものが非常に絶妙に起きています。一つの部屋で起きていることを時系列で書くことが、文章を書く始まりのように思うのですが、文章が慣れていけば慣れていくほど、2000年先の話を書いてもよいんですね。Tさんが起きていることってというのは、個人的話しなのかなと思いきや世界の話しでもあるし、寓話の中の話しでもある。スイミーみたいな引用があって、一匹の魚では弱いけれども一つの大きな魚のようにみんなが模せばどんな状況でも打ちぬくことができる、みたいなことも入っていたりするのが良かったと思います。

何よりも重ねるといふ一足飛びに物事が動かないということ、世の理（ことわり）というのですが、有名なインスタグラマーも最初1人から始まっていることを考えると、毎日毎日の積み重ねが世界的な評価につながるということと、水の積み重ねみたいなことが似ているのではないかと気づかせてくれました。

①詩的で文章として解説文ではなく、哲学を感じさせる文章の書き方になっているのがかっこいいなと思いました。

キ ャ ッ チ フ レ ー ズ

こ の 水 、 顔 ど こ ろ か 、 性 格 ま で 違 う

小	諸	の	水	、	湧	き	出	る	場	所	が	違	え	ば	、	味	も	違	う
す	っ	き	り	系	、	や	わ	ら	か	系	、	ほ	ん	の	り	甘	い	や	っ
ま	で	。	飲	め	ば	き	っ	と	言	い	た	く	な	る	は	ず	。		
「	こ	の	水	、	ち	が	う	顔	し	て	る	！	」						
同	じ	に	見	え	て	全	部	違	う	。									
見	た	目	で	判	断	し	ち	ゃ	ダ	メ	だ	よ	、	水	も	人	も	。	

2年1組 Yさん

講師コメント (ソトコト編集長 指出一正氏)

キャッチフレーズが群を抜いて、力のある言葉の選び方だと思います。

文章としても、フレーズとしてすごくリズムが整っています。言葉と文体が近ければ近いほど、人は親しみを感じるんですよ。なので、言葉と文体を使い分けるのも良いですし、自分に引き寄せて書くというのもナチュラルさがある感じだなと思いました。

水というものをテーマにしているけれども、実際にはYさんは小さな違いが実は社会の中でとても大事なことなんだということを、水をテーマにしながら人の違いみたいなことにも落とし込んでくれているのかなと思います。

②素晴らしいオチを作っているんですよ。「見た目で判断しちゃダメだよ、水も人も」という、主文を入れ替える形で終わりにしているところもリズムがすごく美しいなと思いました。

小諸駅に貼ったらいいんじゃないですかね。小諸に来た方もうなずいてくれると思います。

キ ャ ッ チ フ レ ー ス

ふ る さ と の 味 は 、 水 か ら は じ ま る

あ	の	時	、	小	諸	で	食	べ	た	蕎	麦	と	今	、	目	の	前	に	あ
る	蕎	麦	は	何	か	違	う	。											
風	味	も	食	感	も	含	め	、	蕎	麦	の	全	て	の	味	が	出	て	い
た	あ	の	時	は	何	な	の	だ	ろ	う	か	。							
一	つ	思	い	つ	く	と	す	れ	ば	「	水	」	で	あ	る	。			
小	諸	の	水	で	作	ら	れ	る	だ	け	で	こ	ん	な	に	も	お	い	し
さ	に	違	い	が	で	て	し	ま	う	な	ん	て	。	小	諸	の	水	は	、
蕎	麦	以	外	に	も	お	い	し	さ	を	変	え	て	し	ま	う	の	か	。

2年1組 Yさん

講師コメント (ソトコト編集長 指出一正氏)

①終わりがうまい。結論付けない。読者を置いてきぼりにしていない。

読んだ人がYさんの世界に連れていってもらえていて、その後自分で考えてみる余地を残してくれているというのが、文章の書き方として上手だなと思いました。

お蕎麦だけでない水の可能性みたいなものをいれてくれているので、ご飯もそうだし人間関係もそうだし、生きてく上での住環境も水がないと成り立たないので、水というものの、そもそもの大事さみたいなものを柔らかい表現にのせてくださったと思います。

キ ャ ッ チ フ レ ー ス

水 が 俺 か ら 離 れ て く れ な い ！

1	日	の	中	で	水	を	見	な	い	日	な	ん	か	今	ま	で	で	あ	り
ま	し	た	か	？	人	間	に	は	水	が	必	要	不	可	欠	で	す	。	だ
か	ら	こ	そ	、	質	の	良	い	・	美	味	し	い	水	を	選	び	た	い
で	す	よ	ね	。	じ	ゃ	あ	、	小	諸	の	水	だ	！	超	軟	水	か	ら
超	硬	水	の	ど	っ	ち	も	楽	し	め	る	な	ん	て	や	ば	い	し	、
ウ	ィ	ス	キ	ー	を	作	る	の	た	め	に	、	世	界	的	に	有	名	な
方	が	小	諸	を	選	ぶ	ほ	ど	で	す	。	1	度	飲	ん	だ	ら	、	小
諸	の	水	か	ら	は	も	う	逃	げ	ら	れ	な	い	。					

2年1組 Yさん

講師コメント (ソトコト編集長 指出一正氏)

これはとってもおちゃめな脅迫文です。こうやって、自分を離してくれないんだ水は、というようなスパイスとキックが入っているのが良いなと思いました。

「水が俺から離れてくれない！」私小説の形を模したSFとかで使えるきれいなフレーズなので、ここから文章を作って短編のSFを作ってみても面白いかもしれません。

①日常会話を入れているのが上手だなと思いました。「じゃあ」とか「やばいし」とか。語尾が破綻しているのが好きなので、意識してくれていたのならうれしいです。

① 水のくせに、主役級。

小	諸	の	水	は	そ	こ	ら	に	あ	る	よ	う	な	ど	こ	に	で	も	あ
る	水	で	は	あ	り	ま	せ	ん	。	浅	間	山	の	恵	み	を	受	け	、
雑	味	が	な	く	、	飲	む	た	び	に	自	然	の	恵	み	と	小	諸	な
ら	で	は	の	清	ら	か	さ	を	感	じ	ら	れ	る	の	が	小	諸	の	水
で	す	。	た	だ	の	水	で	は	な	い	、	日	常	を	彩	っ	て	い	る
小	諸	の	水	だ	か	ら	言	え	る	“	主	役	級	。”	小	諸	の	水	を
飲	ん	だ	ら	全	て	の	人	が	思	う	で	し	ょ	う	。	“	水	の	く
せ	に	、	主	役	級	。”	と	。											

2年1組 Wさん

講師コメント (ソトコト編集長 指出一正氏)

① 芥川賞取れるくらい良いタイトルです。

水を落としているんじゃないなくて、水と自分の距離がフラットだから「水のくせに」という親しみの間柄みたいなのが文章に入っているのが、友達として水を扱っている表現の仕方が素敵だなと思いました。

物だから年配だからみたいな分け方で生まれる言葉を、役割語といいます。博士は「わし」とか「なんとかじゃ」、お嬢様は「ですよ」とか「ざます」とか誰も喋っていないのに、役割語を使いたがるのです。役割語にハマった途端に既視感にあふれた表現になってしまう。だから、役割語から離れて水というものがただの無生物ではなくて友達のようなものだという感覚になると、「水のくせに、主役級」みたいな、本当に仲のよい気の置けない関係みたいなのが入っているので、温かみがさしている文章だなと思います。

主役級という言葉も2回使っているのも印象的で上手だなと思います。最後の水のくせに配置を逆にしてしているのも印象深く終わっています。

C	D	E	F	G	A	B	。	フ	ラ	ッ	ト	に	シ	ャ	ー	プ	。	メ	ジ	
ャ	ー	も	マ	イ	ナ	ー	も	。	三	十	数	年	の	時	を	経	て	、	い	
ろ	ん	な	硬	度	で	8	つ	の	水	源	か	ら	湧	く	ワ	ク	。	1	6	
の	個	性	豊	か	な	水	た	ち	。	そ	し	て	彼	ら	に	魅	了	さ	れ	
た	人	た	ち	と	の	協	奏	。	水	も	人	も	ス	イ	ン	グ	す	る	街	。
小	諸	。																		

2年1組 Kさん

講師コメント (ソトコト編集長 指出一正氏)

小諸の水を中心とした街づくりをしている人が喜ぶよなと思って、大人の視点で選んだら大人が書いた文章でした。(先生の文章)

前回の授業で、プロが引き出し線を伸ばすというのを尊重してくれて書かれた文章かなと思います。同時に音楽が好きなのかな、ゲームが好きなのかな、色んな引き出しを持っている人が書いたんだなというのが分かる Amazon とかデパートとか色んな表現が入っている楽しい文章だなと思いました。

ダジャレも多い。硬度とコードをかけたのがこれから伸びるダブルミーニングだなと思いました。